

このベビーベッド「ネット LA」で組み立てる際に使用する組立ネジは6本と、本体についている蝶ねじ2つだけです。ドライバーとか道具は不要です。

杵を持っていただける方がいると作業がとても楽になります。お二人でされることをお勧めします。



1.左右の妻杵と後杵を組立ています。左右の妻杵と後杵を内側がどちらかを確認してください。左右の妻杵は、金棒がある方が内側で、前側となります。後ろ杵は、下のパネル部に内側と記載があります。



左右の妻杵と後ろ杵の準備ができたなら、左右2本ずつ4本の組立ネジで組み立ています。

この時、どなたかに後ろ枠を持っていただくと、組立ネジを組込んでいくのが楽にできます。



5.組立ネジを妻枠と後ろ枠のネジ穴を合わせて組立ます。



6.左右の妻枠と後ろ枠が組立ちました。

2.床板を置き、左右の妻枠に、床板を組立ネジで止めます。

床板は、左右の木枠のネジ穴（ステンレス板の部分です）が手前に来るように置きます。左右の妻枠のパネル部下にある枠の上に床板を置きます。この時後ろ側しか止まっていないので、前側が開きやすく床板が落ちやすいのでご注意ください。

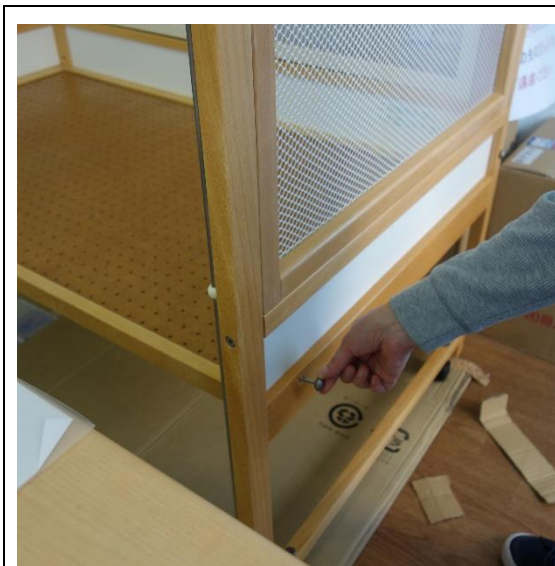


7.床板をネジ穴の位置を確認の上して左右の妻枠の枠の上に置きます。



8.床板を置いた状態です。

組立ネジは左右1本ずつです。



9.組立ネジで床板を止めます。



10.金棒の下部にある蝶ねじを外します。

3.左右の妻枠の金棒を外して、前枠を付けて、再度金棒を前枠を通して取り付けます。

金棒は下部にある蝶ねじを外すと、上に抜けます。

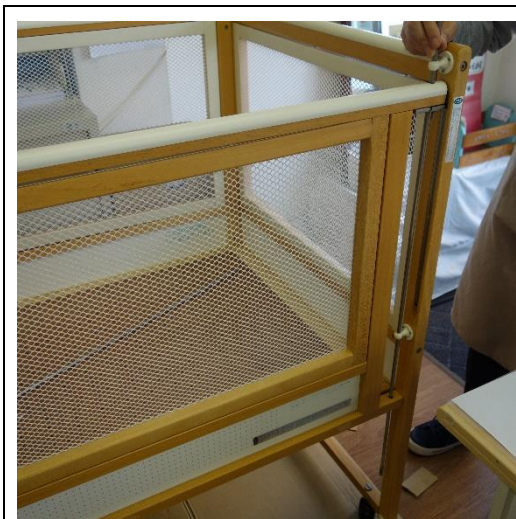
前枠は上部左右にあるバネ状の金具を、左右の妻枠の穴に入れると止まりますが、落ちやすいので、どなたかに前枠を持っていただくと楽に作業が進みます。



11.金棒を外す前にバネのある位置を確認しておいてください。



12.前枠を取り付けて、金棒を通しています。



13.金棒を通しています。



14.反対側の妻枠の金棒を通しています。

左右の金棒を通し終わると安定しますので、それから左右の金棒にバネを入れて下の蝶ねじを止めます。

蝶ねじは強く締めすぎると上下の支柱受けが曲がってしまいます。ちょっと手ごたえがあったところで大丈夫です。



15.バネを入れて下の蝶ねじを止めます。



16.完成です。

以上で完成です。

左右の妻枠にある組立ネジ各3本がしっかりねじ込まれているかを確認してください。
手前の枠（扉）は、上部の金具（ラッチ）のレバーを内側に引きながら上下できます。

*組立ネジの頭に溝があるのでマイナスドライバーが必要と思われるかもしれませんが、手で十分に締められます。外すときにきつくなっていて外せない時に10円玉などを使って外せるように、ネジの頭に太めの溝が切っています。

*上の子様がいる場合は、金棒下部の蝶ねじを上のお子様回して外す可能性があります。

蝶ねじの下側の金棒にセロテープを巻いていただくとお子様では外しにくくなります。